

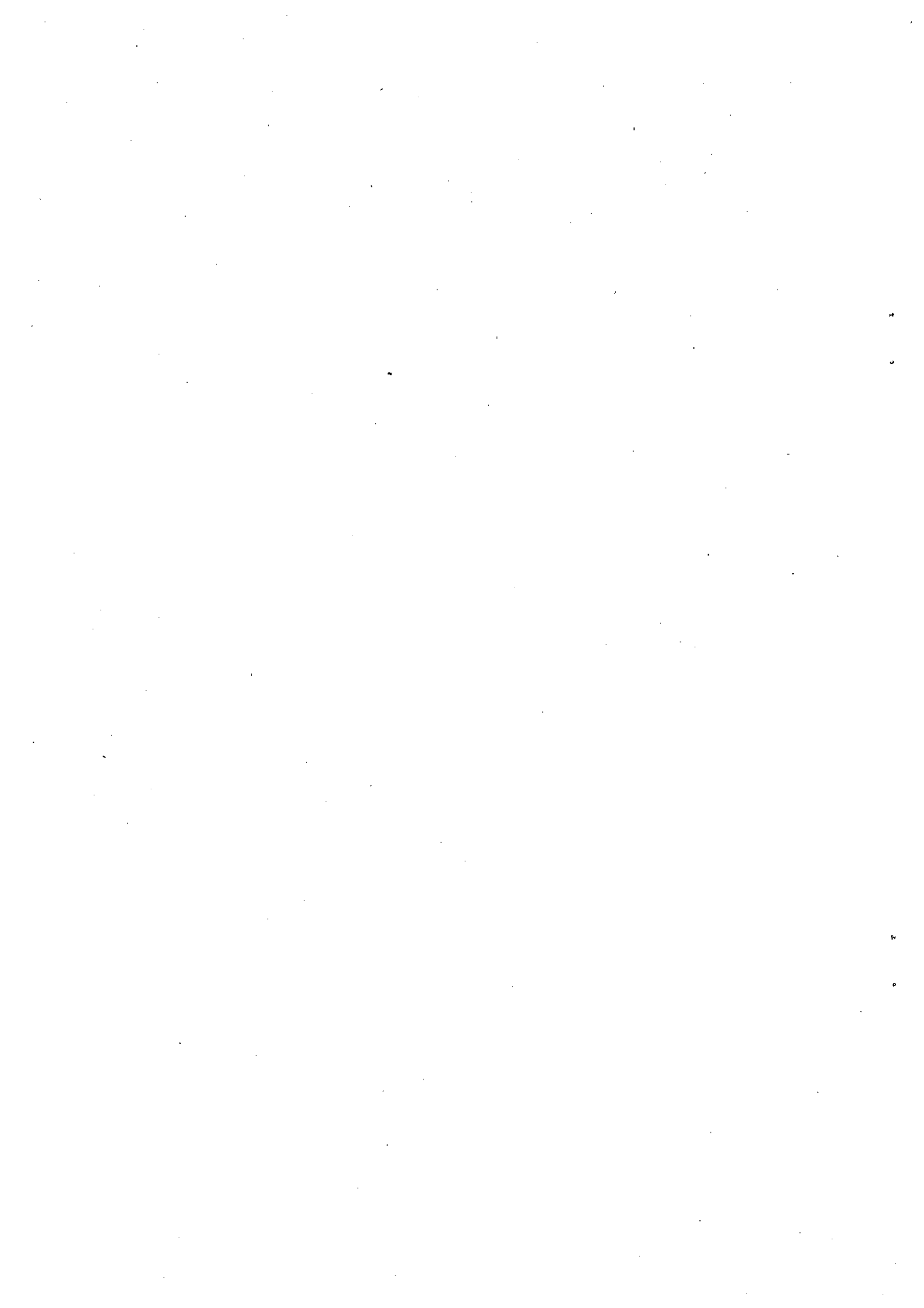
総務教育常任委員会資料

(平成27年12月17日)

【件名】

- ・ 平成31年度から平成37年度までの高等学校の在り方に関する基本方針（案）について（高等学校課）…………… 1
- ・ 米子城跡の史跡整備について（文化財課）…………… 8
- ・ 平成27年度鳥取県体力・運動能力調査及び全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について（体育保健課）…………… 10
- ・ 損害賠償請求訴訟の提起について（体育保健課）…………… 21
- ・ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について（体育保健課）…………… 22

教育委員会



平成31年度から平成37年度までの高等学校の在り方に関する基本方針（案）について

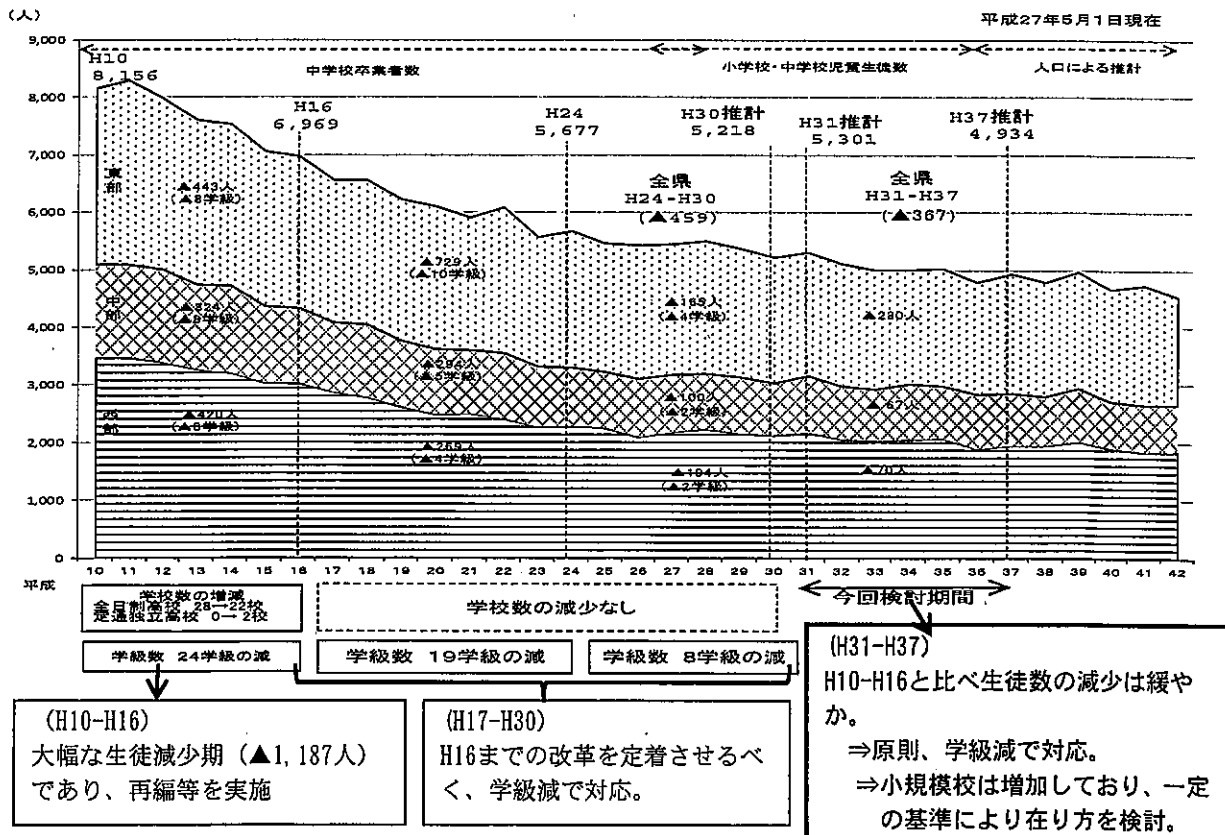
平成27年12月17日
高等学校課

平成26年9月の鳥取県教育審議会答申に基づき、平成31年度から平成37年度までの本県高校教育における基本的な考え方や施策展開の方向性を示した「基本方針」の策定作業を進めています。
今後、パブリックコメントを実施し、県民のみなさんからの御意見を今後の取組に反映させます。
・基本方針策定予定時期：平成28年3月

<基本方針（案）の概要>

- 1 「アクティブ・ラーニング型授業への改革」「グローバル社会で活躍できる人材の育成」など時代や社会の変化に対応した高等学校教育を推進します。
- 2 今後の生徒減少期に対応した魅力と活力にあふれる学校づくりを進めます。
 - 標準的な学校の規模と配置
 - ・標準的な学校の規模は、1学年当たり4学級から8学級程度【従来どおり】
 - ・生徒数減少には、原則として学級減で対応【10学級程度を想定】
 - 小規模校（1学年当たり3学級以下の学校）の在り方
 - ・入学者数等による一定の基準を設定し、在り方を検討
 - ・小規模校ならではの特色ある取組を推進している学校の存続に最大限配慮
 - ・小規模校の教育の質の維持・向上に向けた措置（遠隔授業の導入等）の実施
 - 「単位制高校」への移行や地域連携等による学校の特色や魅力づくり

<参考1・本県中学校卒業生数の推移と高校改革の状況>



<参考2・平成27年度 県立全日制高等学校募集学級規模別一覧>

| 学級数 (※) | 東部地区 | 中部地区 | 西部地区 | 学校数 (割合) |
|------------|---------------------------------------|-------------------------|---------------------------------------|---------------|
| 2学級 | | | 日野(総合) | 1校 (4.5%) |
| 3学級 | 岩美(普通) 智頭農林(専門) 青谷(総合) | 倉吉西(普通) 倉吉農業(専門) | | 5校 (22.7%) |
| 4学級 | | 鳥取中央育英(普通) | 米子南(専門) 米子(総合) | 3校 (13.6%) |
| 5学級 | 鳥取商業(専門) 鳥取工業(専門) 鳥取湖陵(専門) | 倉吉東(普通) 倉吉総合産業(専門) | 境(普通) 米子工業(専門) 境港総合技術(専門) | 8校 (36.4%) |
| 6学級 | | | | 0校 (0.0%) |
| 7学級 | 鳥取東(普通) 八頭(普通) | | | 2校 (9.1%) |
| 8学級 | 鳥取西(普通) | | 米子東(普通) 米子西(普通) | 3校 (13.6%) |
| 9学級 | | | | 0校 (0.0%) |
| 合計 | 普通:4校 25学級 専門:4校 18学級 総合:1校 3学級 | 普通:3校 12学級 専門:2校 8学級 | 普通:3校 21学級 専門:3校 14学級 総合:2校 6学級 | 22校 107学級 |

※各年度第1学年の学級数

1校当たり平均4.9学級

<参考3・平成10年度以降の学級減の変遷(全日制課程)>

| 区分 | 学校名 | 年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|------|------|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| | | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 東部地区 | 普通 | 鳥取東 | 10学級 | | | | | ▲1 | | ▲1 | | | | | | | | ▲1 | 7学級 |
| | 鳥取西 | 12学級 | | | ▲2 | | ▲1 | | | ▲1 | | | | | | | | | 8学級 |
| | 岩美 | 4学級 | | | | | | | ▲1 | | | | | | | | | | 3学級 |
| | 八頭 | 10学級 | | ▲1 | | | ▲1 | | | | | | | ▲1 | | | | | 7学級 |
| | 鳥取商業 | 7学級 | +1 | | | | | | | ▲1 | ▲1 | | ▲1 | | | | | | 5学級 |
| | 鳥取工業 | 6学級 | | | | | | | | | ▲1 | | | | | | | | 5学級 |
| | 鳥取湖陵 | | | | 6学級 | | | | | | | | | | ▲1 | | | | 5学級 |
| | 鳥取西工 | 4学級 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 鳥取農業 | 4学級 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 智頭農林 | 4学級 | | | | | | | | | ▲1 | | | | | | | | 3学級 |
| 総合 | 青谷 | 5学級 | ▲1 | | | | | | | | | | | | | | ▲1 | 3学級 | |
| 中部地区 | 普通 | 倉吉東 | 6学級 | | | | | | | | | | | | | | | | 6学級 |
| | 倉吉西 | 6学級 | ▲1 | | | | | | | ▲1 | | | | | | | | ▲1 | 3学級 |
| | 鳥取中央育英 | | | | | | 5学級 | | | | | ▲1 | | | | | | | 4学級 |
| | 由良育英 | 5学級 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 赤碕 | 3学級 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 倉吉農業 | 4学級 | | | | | | | | | | | | | ▲1 | | | | 3学級 |
| | 倉吉総合産業 | | | | | | 6学級 | | | | ▲1 | | | | | | | | 5学級 |
| | 倉吉産業 | 5学級 | | | ▲1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 倉吉工業 | 5学級 | | | ▲1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 普通 | 米子東 | 9学級 | | | | ▲1 | | | | | | | | | | | | 8学級 |
| 米子西 | 9学級 | | | ▲1 | | | | | | | | | | | | | | 8学級 | |
| 境 | 7学級 | | | | | ▲1 | | | | | | | | | | | | 6学級 | |
| 米子南 | 5学級 | | | | | | | | | | | ▲1 | | | | | | 4学級 | |
| 米子工業 | 5学級 | | | | | | | | | | | | | | | | ▲1 | 4学級 | |
| 境江産業技術 | 3学級 | | ▲1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 境港総合技術 | | | | | | 6学級 | | | | | | | | ▲1 | | | | 5学級 | |
| 境水産 | 3学級 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 境港工業 | 4学級 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 米子 | 4学級 | | | | | | | | | | | | | | | | | 4学級 | |
| 総合 | 日野 | | 4学級 | | | | | | ▲1 | | | | | | | | ▲1 | 2学級 | |
| 根雨 | 3学級 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日野産 | 2学級 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成31年度以降の県立高等学校の在り方に関する基本方針（案）の概要

1 基本方針案策定の背景

平成31年度以降も中学校卒業生数の減少が見込まれており、学科やコース等の改編等を含めた学校の再編成を行うことも視野に入れながら学校の在り方を検討していく必要があります。

また、近年の高度情報化や国際化を背景に産業構造・就業構造の変化も加速してきており、グローバル社会に対応できる幅広い知識や柔軟な思考力及び創造性を持った人材を育成することが求められていることから、

- ・時代や社会の変化に柔軟に対応できる教育の推進
- ・今後の生徒減少期に対応した魅力と活力にあふれる高等学校づくり

の2点を中心に、県立高等学校の在り方に関する基本方針を作成しました。

この基本方針は、平成31年度から平成37年度までの本県高校教育における基本的な考え方や施策展開の方向性を示したものであり、今後は本方針をもとに、関係者等の意見を聞きながら、施策を具体化・明確化し、その実現に向けて努めていきます。

2 基本方針案の概要

第1章 時代や社会の変化に柔軟に対応できる高等学校教育の推進

1 新たな学びに向けた取組

(1) これからの時代に求められる教育の推進

- 「21世紀型能力」を育むため、主体的・協働的な学習（アクティブ・ラーニング）を取り入れた授業への転換を目指して積極的な授業改革を推進していきます。
- 国内外の教育関係機関や企業等との連携により、グローバル社会で活躍できる人材の育成に取り組みます。
- 「鳥取県ICT教育活用ビジョン」における4つの方向性「学びの質を高める」、「教室環境の整備を目指す」、「多様な人材による多様な支援」、「県全体の情報基盤を整備する」に基づき、ICTを活用した教育を推進していきます。
- 多様な教育機会の確保や教育の質の向上を図っていくため、ICTを活用した遠隔教育の導入を検討します。

(2) 共生社会の形成に向けた教育の推進

- 高等学校における課題の解決に向け、これまでの事業で培ったネットワークをもとに、効果的なチーム支援の展開を研究していきます。
- 生徒が自己理解・他者理解を深めることのできる取組を推進します。
- 一人一人の個性と能力を大切にする共生社会の形成に向けた教育を全校で展開していきます。

2 本県の地域や産業を支える人材の育成

(1) 社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の充実

- 自己の適性を理解して主体的に進路を選択する態度を育成していきます。
- 最前線で活躍している研究者・起業家や最先端の技術など「本物」に触れさせる教育を充実させます。
- 高い付加価値を生み出せる人材の育成に取り組みます。
- 生徒の発達段階に応じて、主権者としての判断能力を高めるための教育を推進していきます。
- 夢や希望に向かって果敢にチャレンジする生徒を育成していきます。

(2) 地域と連携した教育の推進

- 地域の産業や文化についての学習や、地域の課題を題材とした学習等を積極的に取り入れ、「鳥取県を内外から支える人材」の育成に取り組みます。
- グローバル社会で活躍すると同時に、生まれ育った地域の中核としても活躍できる人材の育成に取り組みます。

第2章 今後の生徒減少期に対応した魅力と活力にあふれる高等学校づくり

1 学校の特徴や魅力づくり

(1) 生徒が自らデザインした学習を可能にする教育課程の在り方

- 多様な科目の選択が可能となる「単位制高校」への移行や、自校で学習できない内容を他校で学習するなどの学校間連携をより一層進めていきます。

(2) 地域との連携等による学校の特色や魅力づくり

- 地域と学校が、目標を共有し、方向性を一にして取組を実行していきます。
- 地域と学校が相互の資源等を学校の教育活動の中で最大限に活用する方法を模索し、これを教育の中に位置付けるとともに、体系的・組織的な取組として展開していきます。
- 各学校の特色や魅力を明確にし、その一層の充実を図ります。
- 学校の特色や魅力に応じて、県外からも目標を持った生徒を受け入れる取組を推進します。

2 各課程・学科の在り方

(1) 全日制課程普通学科

- キャリア教育を充実させ、将来への目的意識を持たせるとともに、社会や職業に対する意識を醸成する教育を実施していきます。
- 進学者の多い学校への単位制の導入など生徒自身の選択自由度を高め、生徒自らがデザインできる教育課程を編成できるよう工夫します。

(2) 全日制課程専門学科

- 学校と産業界、行政機関等との連携を強化し、生徒に身につけさせたい力を共有して産業界のニーズに応じた人材を育成します。
- 今後の産業構造等の変化を見据えながら、学科の改編や複数学科をくくったコース制の導入などについて検討します。

(3) 全日制課程総合学科

- 生徒の進路希望をより一層明確にするためのガイダンス機能の充実や各系列の教育目標や育成すべき人材像を明確にした教育課程を編成します。
- 小規模校が多いことから、機動性を生かし、生徒が将来の夢に向かって主体的に学ぶ取組を教育課程の中に体系的に位置づけ、個々の生徒の進路実現につなげます。
- 多様な学びを提供するため、ICTを活用した遠隔教育の導入を検討します。

(4) 定時制・通信制課程

- 基礎・基本の定着や発展的学習の充実等を図るため、体験型学習の充実やICT機器等を取り入れた有効な学習モデルの構築について研究します。
- 多様な学習歴を持った生徒の学びの場として、昼間部・夜間部への入学状況等も考慮しながら今後の在り方について検討します。

3 標準的な学校の規模と配置

(1) 標準的な学校の規模

- 従来どおり、1学年当たり4学級から8学級程度を標準的な学校規模とします。
- 各学校の規模は、標準的な学校規模をもとに、将来見込まれる各学校への入学者数、地域の産業や人口の状況等を考慮し、総合的に勘案しながら決定します。

(2) 生徒数の減少への対応

- 生徒数の減少に対しては、原則として学級減で対応します。
- 県全体の学科の配置状況等を考慮しながら、複数校を対象とした再編や学級定員減等による教育の質の向上についても検討します。
- 1学年当たり3学級以下の小規模校については、一定の基準により分校化や再編等についても検討します。なお、地域と連携した人材育成など小規模校ならではの特色ある取組を推進している学校については、その存続に最大限の努力を払います。
- 特色ある取組を推進している小規模校については、教育の質の維持・向上に向けた必要な措置（少人数授業の実施、外部人材の活用、遠隔授業の導入等）を講じます。

(3) 私立高等学校との連携と協力

- 今後の生徒減少期において、教育の質の低下を招くことがないように、県立高等学校及び私立高等学校が、学力向上施策や教職員研修などにおいて互いに連携・協力しながら本県教育の質の向上に努めます。
- 県立高等学校と私立高等学校の募集定員の在り方についても十分に意見交換を行っていきます。

4 魅力と活力ある学校づくりを推進するための体制整備

- 教員とは異なる専門性や経験を有する人材の積極的な活用を進めます。
- 教員と教員以外の者がそれぞれ専門性を発揮しながら連携し、校長のリーダーシップの下、学校組織全体を一つのチーム（チーム学校）として効果的に機能させ、課題解決に取り組みます。
- 活用する外部人材に対し、研修を実施するなど学校の教育方針や教育内容の理解に資する取組を推進します。

米子城跡の史跡整備について

平成27年12月17日
文化財課

1 現況

米子城跡は、戦国時代末期から江戸時代まで西伯耆支配の拠点城郭で、現在でも郭、石垣や枡形等の遺構が良好に残っている。城に関連する文献・絵図史料も豊富に残されており、戦国末期から近世初期の築城技術を知る上で重要な城跡であることが評価され、平成18年に国指定史跡となる。

〔 指定面積 約13万5千㎡
指定年月日 平成18年1月26日（文部科学省告示第4号） 〕

2 整備主体（米子市）が行う今後の整備事業について

(1) 米子城跡整備の基本目標

中心市街地の歴史的文化的資産として城跡の保存・整備を推進し、市民に潤いや憩いを提供する都市空間を創出するまちづくり事業として、次の基本目標を掲げて整備事業を実施。

- ① 近世初頭の平山城の特徴を備えた史跡として城跡を保存・整備
- ② 歴史公園として、多くの市民に憩いを提供するゆとり空間の創出
- ③ 優れた眺望、石垣景観等を活かし、米子市を代表する景観スポットとして魅力向上

(2) 整備の対象範囲

本丸をはじめとする主要郭で構成される内堀に囲まれた範囲のうち、市街化が著しい箇所を除外した範囲が対象。本丸、二の丸、内膳丸、出山、御船手（深浦）郭及び三の丸の主要部が含まれる都市公園区域。

(3) 整備事業の概要

現存する城絵図や遺構調査の結果等を基本とし、歴史公園として整備。

① 史跡の保存・整備事業

三の丸（湊山球場敷地）、出山、深浦郭の追加指定。遺構調査、石垣の整備・補修、樹木管理等の景観整備等

② 公園の機能整備事業

解説板、園路案内板等のサイン施設の設置、園路等の整備、便益施設の設置等



(4) 整備事業期間

概ね8年間で予定。計画的な整備の推進を図る。

国史跡米子城跡（南から）

第Ⅰ期整備（事業期間概ね5年間程度を目標に事業完了を目指すもの）

- ・保存活用計画の策定
- ・史跡追加指定
- ・整備基本計画の策定
- ・民有地の公有化
- ・三の丸の整備
- ・枳形～二の丸～本丸に至るメイン園路の整備
- ・便益施設、サイン設備等の設置
- ・内容確認調査の実施
- ・石垣資料調査
- ・小原家長屋門等の移設の検討等

第Ⅱ期整備（第Ⅰ期整備後概ね3年間程度を目標に実施するもの）

- ・深浦郭の整備
- ・出山の整備
- ・城跡園路の全体的な整備
- ・その他便益施設、サイン施設などの設置
- ・内容確認調査の実施等

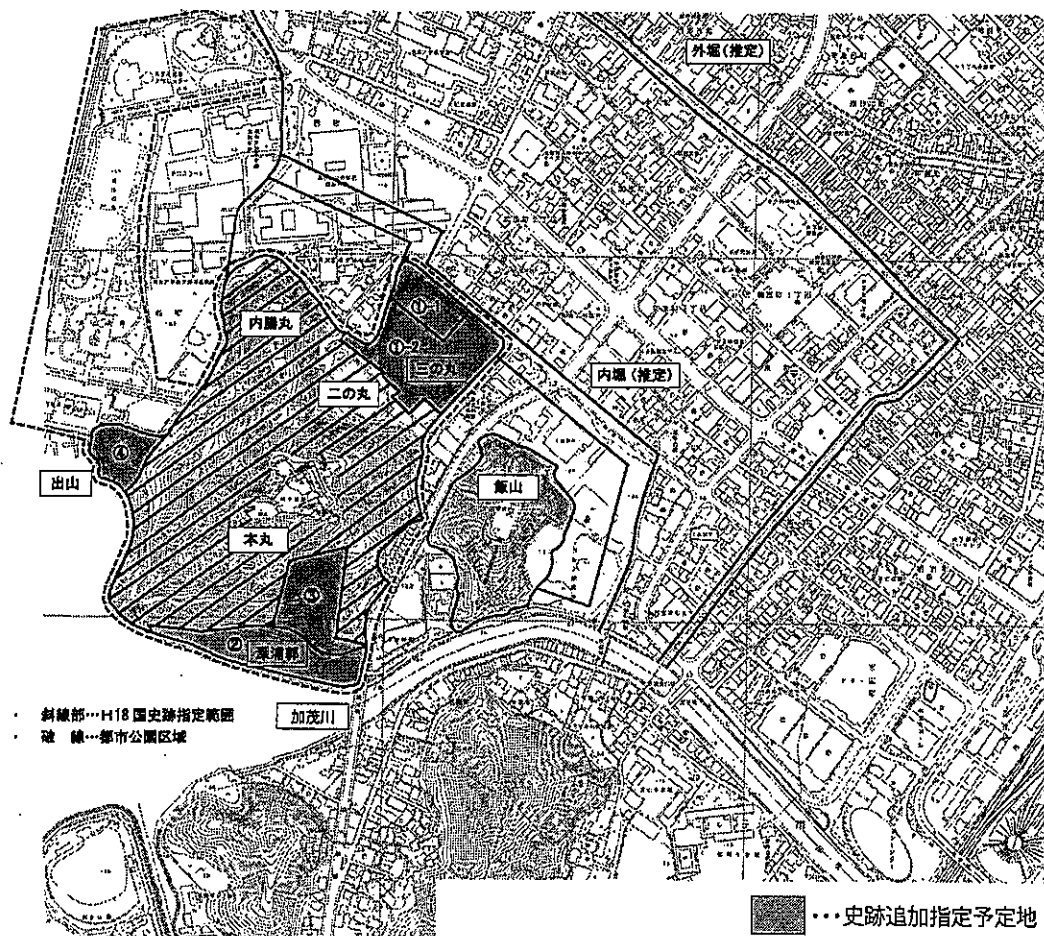
(5) 現在実施している事業と今後の予定

平成27年度 詳細地形測量図の作成、内容確認調査

保存活用計画策定のための基礎調査（文献、構造物、動植物等調査）

平成28年度 保存活用計画策定事業、史跡の内容確認調査の実施を予定

⇒適切な時期に国史跡の追加指定を意見具申（米子市→国）



3 その他

○旧湊山球場跡地等への鳥取大学の要望

- ・鳥取大学医学部が教育に使用できるグラウンド（屋外体育施設・市民との共用可）の整備・確保
- ・医学部附属病院外来駐車場の整備・確保
- ・将来の医学部附属病院の再開発に向けた敷地の確保

【調査結果の概要】

- ・体力合計点は全国平均値を上回っており、平成25年度以降、改善傾向が継続している。
- ・シャトルラン（持久力）、反復横跳び（瞬発性）、立ち幅跳び（跳躍力）は前年度の結果及び全国平均値を上回っており、また、県の課題である長座体前屈（柔軟性）は前年度を上回る結果であったが、まだ全国平均値を下回っている。
- ・運動実施時間が長い児童生徒は体力合計点が高くなる傾向があり、全国と比較しても鳥取県の児童生徒の運動実施率は高い位置にある。

1 調査について（資料1）

(1) 鳥取県体力・運動能力調査

昭和52年から小1～高3の全児童生徒を対象として実施している調査

(2) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

平成20年度から文部科学省が小5、中2を対象として実施している調査

(3) 調査結果の分析等について

- ・県教育委員会では、(1)の調査を踏まえて県内の児童生徒の実態等を把握、施策立案し、(2)の調査結果は全国の状況をもとに鳥取県の実態把握や分析に活用
- ・調査結果の分析等は、鳥取県子どもの体力向上支援委員会（県附属機関）が実施

2 体力の比較（平成26年度と27年度 鳥取県体力・運動能力調査による）

<体力合計点の総合判定 AB の割合>

| 学年 | H26結果 | H27結果 |
|------|-------|-------|
| 小5男子 | 38.4% | 37.9% |
| 小5女子 | 43.1% | 44.6% |
| 中2男子 | 37.4% | 34.7% |
| 中2女子 | 63.3% | 61.4% |

<1日60分以上運動する児童の増加>

| 学年 | H26結果 | H27結果 |
|------|-------|-------|
| 小5男子 | 64.9% | 68.2% |
| 小5女子 | 48.8% | 49.5% |

※高い得点から A～E の評価を受ける

3 課題

- ・運動していない児童生徒の運動実施時間の増加
- ・幼少期から小学校低学年までの多様な動きの習得及び運動意欲の向上
- ・学校で行われる体育的活動の充実（体育授業での運動量の確保等）等、学校全体での取組の推進

4 当面の取組

- ・今年度中に全ての市町村教育委員会を訪問し、調査結果の分析等の説明及び遊びの王様ランキング、トップアスリートバンク等、県の開催事業の参加を再度呼びかけ、市町村教育委員会の理解と取組強化を要請する。
- ・幼保小連携による幼児期及び小学校低学年期の運動指導の工夫・改善に向けた取組を実施する。
- ・体育主任連絡協議会において、結果及び分析の周知と取組の見直し等の改善について要請する。

※別紙1～4 平成27年度鳥取県体力・運動能力調査結果

※別紙5～8 平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

鳥取県体力・運動能力調査及び全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

(1) 鳥取県体力・運動能力調査について

ア 調査対象及び人数

鳥取県内の全ての公立小学校・公立中学校・県立高等学校（全日制）の全児童生徒を対象（平成25年度より悉皆）

※集計数：53,782名（県内公立学校児童生徒数：56,938名 H27.5.1 現在）

イ 調査項目

〈実技項目〉

- ①握力②上体起こし③長座体前屈④反復横跳び⑤20mシャトルラン⑥50m走
⑦立ち幅跳び ⑧ソフトボール投げ（小）ハンドボール投げ（中・高）

〈児童生徒の属性に関する項目〉

- ①年齢 ②性別 ③都市階級区分 ④運動部やスポーツクラブへの所属状況
⑤運動・スポーツ実施状況 ⑥1日の運動・スポーツの実施時間
⑦朝食摂取状況 ⑧1日の睡眠時間 ⑨1日のテレビ（テレビゲームを含む）の視聴時間
⑩1日のパソコン・携帯電話の利用時間

ウ 調査期間 平成27年4月から7月まで

(2) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

ア 調査対象

小学校第5学年、特別支援学校小学部第5学年、中学校第2学年、特別支援学校
中学部第2学年の全児童生徒

※県内公立小学校、公立中学校、特別支援学校小学部1校、中学部2校が参加
（特別支援学校は児童生徒の実態により、調査実施の可否を学校が判断）

イ 調査項目

①児童生徒に対する調査

〈実技に関する調査〉

- ①握力②上体起こし③長座体前屈④反復横とび⑤20mシャトルラン⑥50m走
⑦立ち幅とび⑧ソフトボール投げ（小学校）ハンドボール投げ（中学校）

〈質問紙調査〉

運動習慣、生活習慣等に関する調査

②学校に対する質問紙調査

子どもの体力向上に係る取組、体育学習等に関する質問紙調査

ウ 調査期間 平成27年4月から7月まで

各学年の体力合計点平均値の年次推移(過去3年間)

(1)男子

| 年 | 小1 | | 小2 | | 小3 | | 小4 | | 小5 | | 小6 | |
|-----|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|
| H25 | 30.47 | | 37.56 | | 43.76 | | 49.14 | | 54.69 | | 59.91 | |
| H26 | 30.48 | ○ | 37.72 | ○ | 43.70 | ・ | 49.44 | ○ | 54.27 | ・ | 60.28 | ○ |
| H27 | 30.67 | ○ | 37.73 | ○ | 43.80 | ○ | 49.04 | ・ | 54.43 | ○ | 59.50 | ・ |

| 年 | 中1 | | 中2 | | 中3 | | 高1 | | 高2 | | 高3 | |
|-----|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|
| H25 | 33.51 | | 41.88 | | 49.86 | | 52.82 | | 56.95 | | 59.47 | |
| H26 | 33.78 | ○ | 42.86 | ○ | 49.30 | ・ | 53.22 | ○ | 57.11 | ○ | 59.23 | ・ |
| H27 | 33.69 | ・ | 42.65 | ・ | 49.44 | ○ | 52.20 | ▼ | 57.51 | ○ | 60.13 | ○ |

(2)女子

| 年 | 小1 | | 小2 | | 小3 | | 小4 | | 小5 | | 小6 | |
|-----|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|
| H25 | 30.58 | | 38.16 | | 44.22 | | 49.77 | | 56.24 | | 60.77 | |
| H26 | 31.01 | ○ | 38.04 | ・ | 44.28 | ○ | 50.49 | ○ | 55.48 | ・ | 60.83 | ○ |
| H27 | 30.62 | ・ | 38.41 | ○ | 44.09 | ・ | 49.95 | ・ | 56.18 | ○ | 60.50 | ・ |

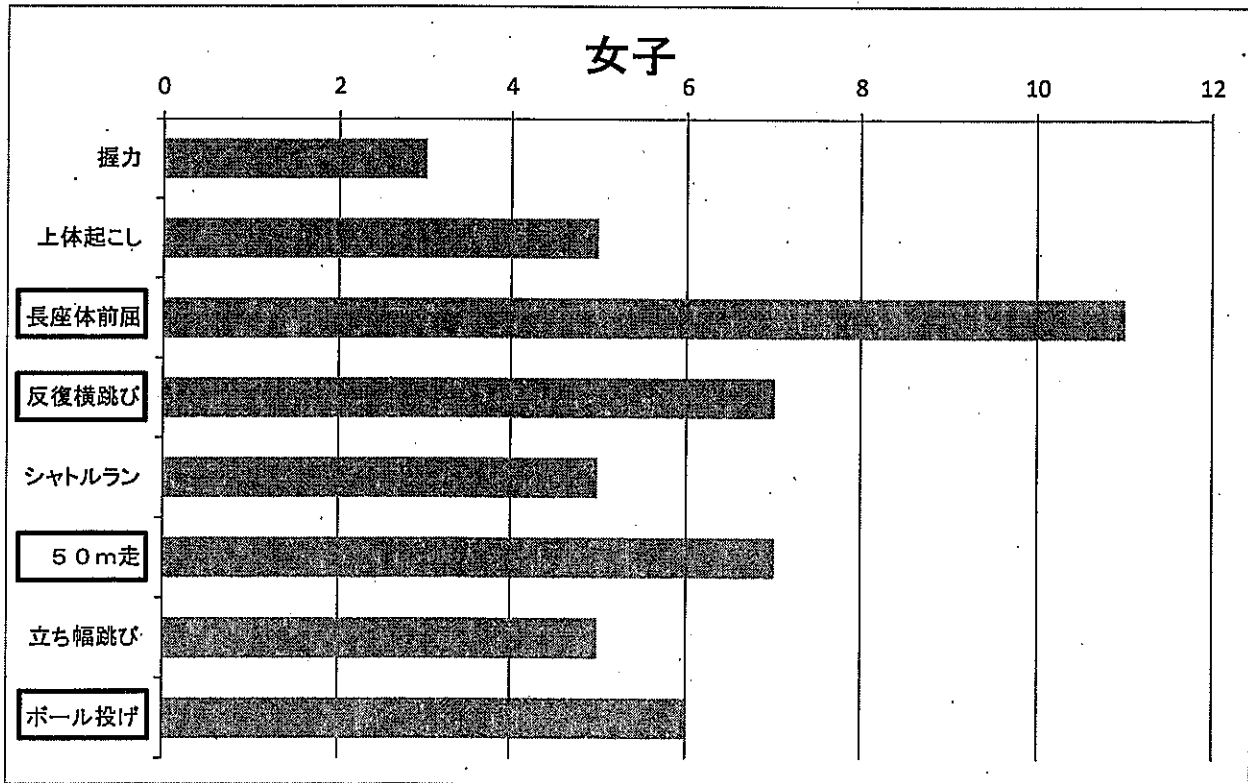
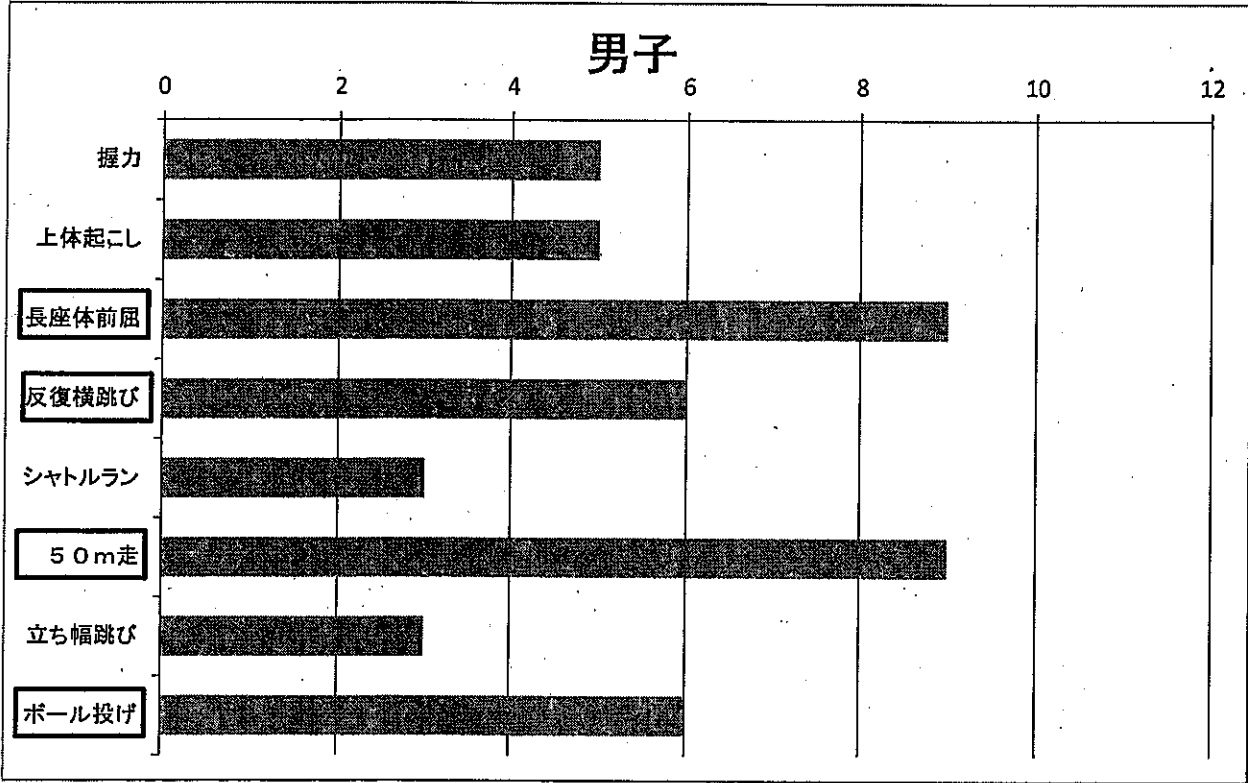
| 年 | 中1 | | 中2 | | 中3 | | 高1 | | 高2 | | 高3 | |
|-----|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|
| H25 | 44.58 | | 49.09 | | 52.21 | | 52.25 | | 53.55 | | 54.58 | |
| H26 | 45.03 | ○ | 49.96 | ○ | 51.77 | ・ | 52.51 | ○ | 54.34 | ○ | 55.01 | ○ |
| H27 | 44.40 | ・ | 49.63 | ・ | 52.21 | ○ | 51.88 | ・ | 54.50 | ○ | 55.74 | ○ |

(凡例)

- 1ポイント未満の向上
- ・ 1ポイント未満の低下
- ▼ 1ポイント以上の低下

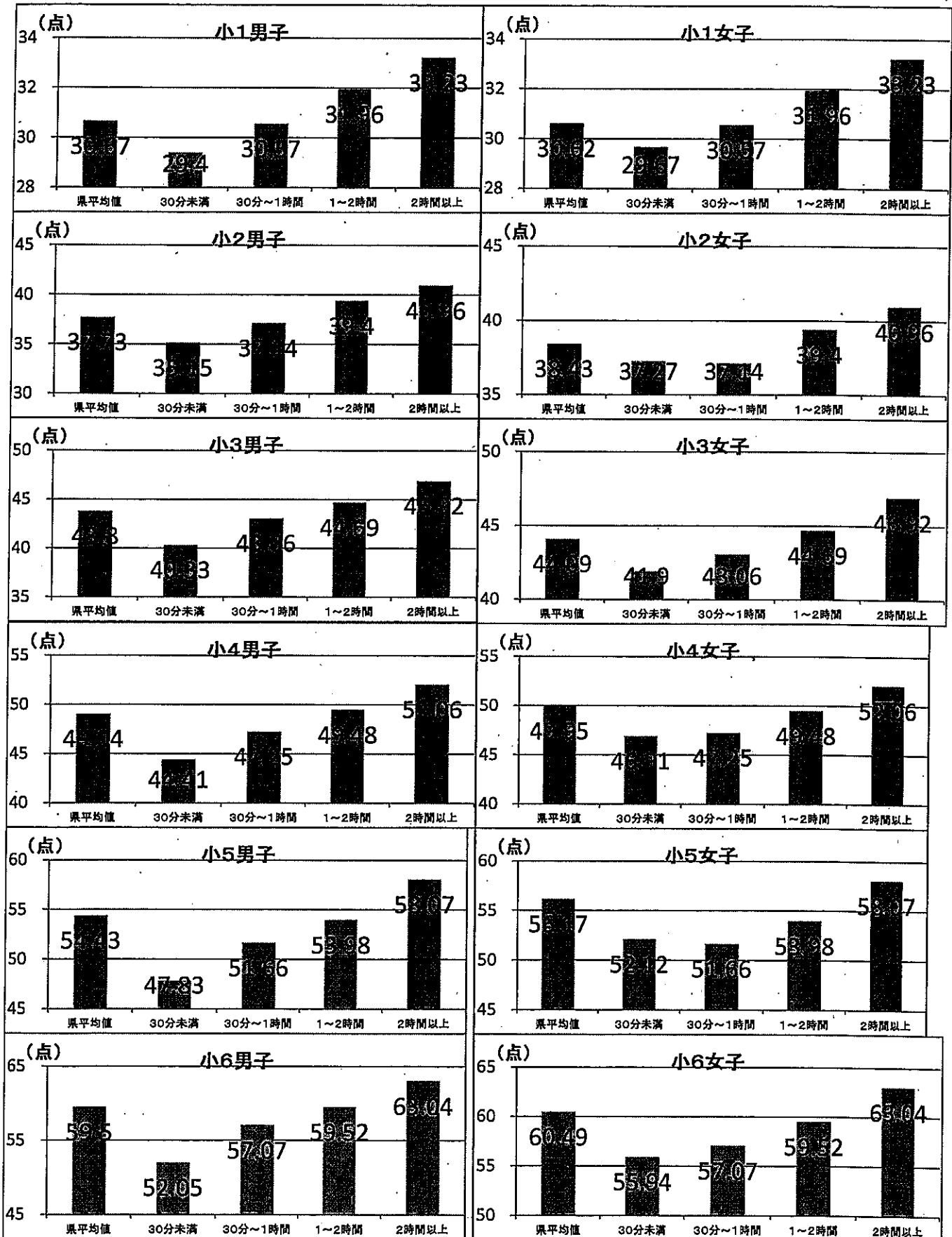
種目別平均値前年度比較

小1から高3までの12学年(男女別)のうち、種目平均値が前年度より高かった学年の数



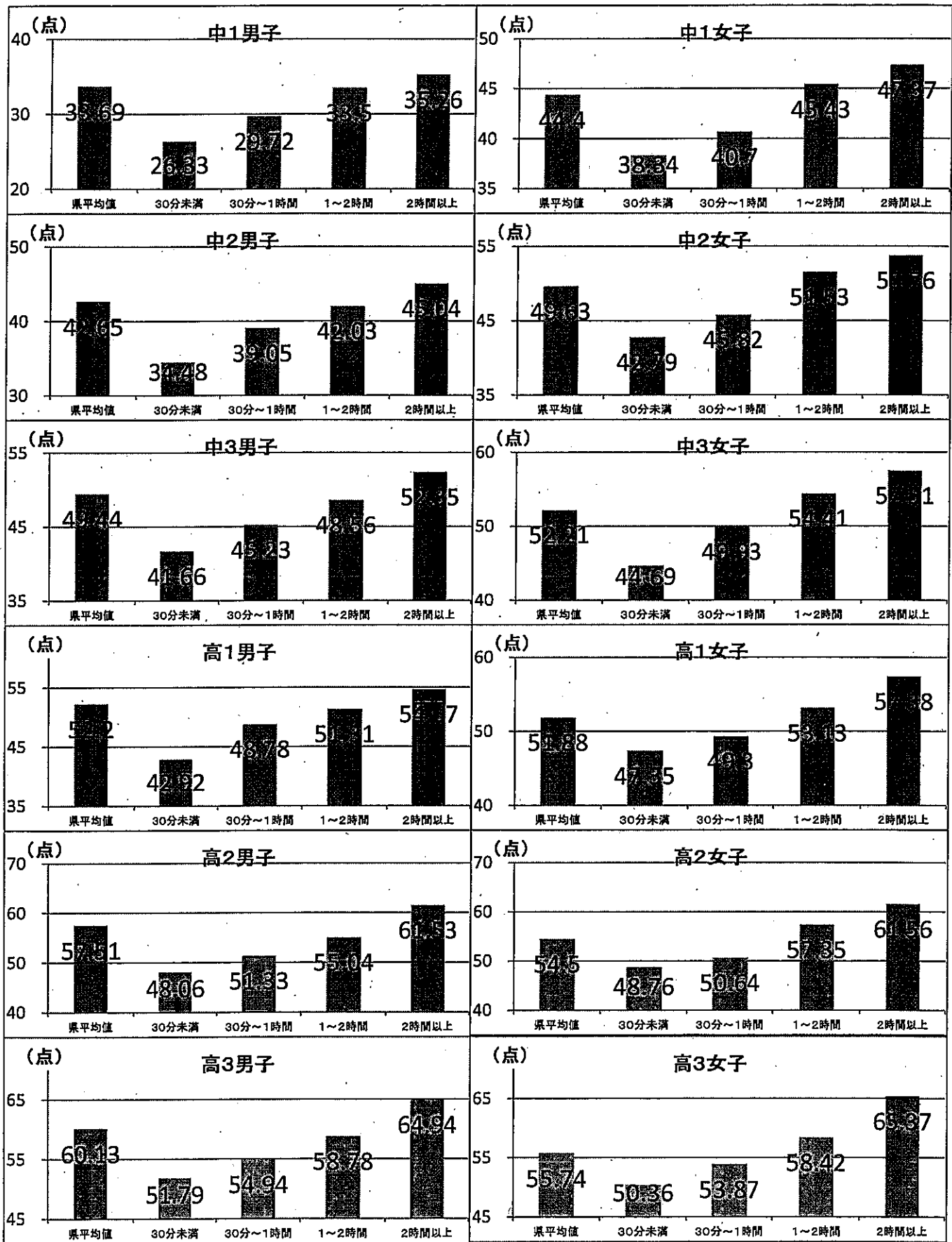
※比較は種目平均値の単純比較による。
 ※種目名が囲まれているのは、半数以上の学年が上回った種目

運動実施時間別体力合計点平均値比較(H27鳥取県体力・運動能力調査)
 体育保健課



運動実施時間別体力合計点平均値比較(H27鳥取県体力・運動能力調査)

体育保健課



実技に関する集計結果・全国との比較(H27全国体力・運動能力・運動習慣等調査)

別紙5

| 区分 | 男子 | | | | | | 女子 | | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|
| | 小学校5年 | | | 中学校2年 | | | 小学校5年 | | | 中学校2年 | | |
| | 全国 | 鳥取県 | 差 | 全国 | 鳥取県 | 差 | 全国 | 鳥取県 | 差 | 全国 | 鳥取県 | 差 |
| 1 握力(kg) | 平均値 | 16.45 | 16.63 | | 28.93 | 29.14 | | 16.05 | 16.17 | | 23.68 | 23.75 |
| | 標準偏差 | 3.72 | 3.51 | ○ | 7.09 | 6.94 | ○ | 3.74 | 3.58 | ○ | 4.57 | 4.60 |
| | T得点(全国比) | 50.0 | 50.5 | | 50.0 | 50.3 | | 50.0 | 50.3 | | 50.0 | 50.2 |
| 2 上体起こし(回) | 平均値 | 19.58 | 19.43 | ▼ | 27.43 | 27.22 | ▼ | 18.42 | 18.69 | ○ | 23.25 | 23.22 |
| | 標準偏差 | 5.87 | 5.49 | | 6.08 | 6.17 | | 5.25 | 4.77 | | 5.75 | 5.60 |
| | T得点(全国比) | 50.0 | 49.7 | | 50.0 | 49.7 | | 50.0 | 50.5 | | 50.0 | 49.9 |
| 3 長座体前屈(cm) | 平均値 | 33.05 | 31.75 | ▼ | 43.08 | 41.82 | ▼ | 37.44 | 35.55 | ▼ | 45.53 | 44.74 |
| | 標準偏差 | 8.09 | 7.05 | | 10.41 | 10.11 | | 8.24 | 7.00 | | 9.80 | 9.12 |
| | T得点(全国比) | 50.0 | 48.4 | | 50.0 | 48.8 | | 50.0 | 47.7 | | 50.0 | 49.2 |
| 4 反復横とび(点) | 平均値 | 41.60 | 42.47 | ○ | 51.62 | 52.82 | ○ | 39.55 | 40.71 | ○ | 46.09 | 46.64 |
| | 標準偏差 | 7.88 | 7.16 | | 7.92 | 7.66 | | 7.10 | 6.24 | | 6.64 | 6.23 |
| | T得点(全国比) | 50.0 | 51.1 | | 50.0 | 51.5 | | 50.0 | 51.6 | | 50.0 | 50.8 |
| 5 20mシャトルラン(回) | 平均値 | 51.64 | 59.93 | ○ | 85.56 | 89.55 | ○ | 40.69 | 49.44 | ○ | 58.06 | 62.23 |
| | 標準偏差 | 20.92 | 20.48 | | 24.33 | 23.22 | | 16.27 | 16.85 | | 20.19 | 18.66 |
| | T得点(全国比) | 50.0 | 54.0 | | 50.0 | 51.6 | | 50.0 | 55.4 | | 50.0 | 52.1 |
| 6 50m走(秒) | 平均値 | 9.38 | 9.43 | ▼ | 8.01 | 7.92 | ○ | 9.62 | 9.64 | ▼ | 8.84 | 8.79 |
| | 標準偏差 | 0.96 | 1.01 | | 0.85 | 0.82 | | 0.82 | 0.82 | | 0.80 | 0.78 |
| | T得点(全国比) | 50.0 | 49.5 | | 50.0 | 51.1 | | 50.0 | 49.8 | | 50.0 | 50.6 |
| 7 立ち幅とび(cm) | 平均値 | 151.24 | 151.91 | ○ | 194.05 | 197.90 | ○ | 144.77 | 145.08 | ○ | 167.28 | 169.90 |
| | 標準偏差 | 21.43 | 20.15 | | 27.87 | 27.03 | | 20.40 | 19.37 | | 24.65 | 23.93 |
| | T得点(全国比) | 50.0 | 50.3 | | 50.0 | 51.4 | | 50.0 | 50.2 | | 50.0 | 51.1 |
| 8 ボール投げ(m) | 平均値 | 22.52 | 23.02 | ○ | 20.65 | 20.05 | ▼ | 13.77 | 13.90 | ○ | 12.83 | 12.52 |
| | 標準偏差 | 7.98 | 7.90 | | 5.58 | 5.39 | | 4.76 | 4.88 | | 4.08 | 4.10 |
| | T得点(全国比) | 50.0 | 50.6 | | 50.0 | 49.9 | | 50.0 | 50.3 | | 50.0 | 49.2 |
| 体力合計点(点) | 平均値 | 53.80 | 54.41 | ○ | 41.89 | 42.62 | ○ | 55.18 | 56.18 | ○ | 49.08 | 49.89 |
| | 標準偏差 | 8.93 | 8.33 | | 10.02 | 9.81 | | 8.82 | 7.95 | | 10.95 | 10.40 |
| | T得点(全国比) | 50.0 | 50.7 | | 50.0 | 50.7 | | 50.0 | 51.2 | | 50.0 | 50.7 |
| 総合評価(%) | A | 11.1 | 10.1 | | 7.3 | 7.9 | | 14.1 | 16.3 | | 27.3 | 28.7 |
| | B | 24.9 | 27.2 | | 25.7 | 27.5 | | 26.5 | 28.0 | | 32.3 | 35.1 |
| | C | 34.1 | 37.6 | | 38.1 | 38.4 | | 34.5 | 34.9 | | 27.0 | 25.8 |
| | D | 21.0 | 17.9 | | 22.2 | 20.7 | | 19.0 | 17.6 | | 11.3 | 8.7 |
| | E | 8.9 | 7.2 | | 8.7 | 5.5 | | 5.8 | 3.3 | | 2.1 | 1.7 |

○…全国値を上回る。

▼…全国値を下回る。

◇体力合計点においては、小学校5年、中学校2年の男女ともに全国平均よりも上回っている。

・学年および種目別の32種目のうち、21項目が全国平均よりも上回っており、11項目で下回っている。

・握力、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とびに関しては、小学校2年の男女ともに全国平均を上回っている。

・長座体前屈においては、小学校5年及び中学校2年の男女で全国平均よりも下回っており、柔軟性が課題であると考えられる。

◇総合評価(A～E)においては、小学校5年、中学校2年の男女ともA、B段階の割合の合計が全国平均よりも高い。また、D、E段階においては小学校5年および中学校2年の男女ともに全国平均を下回っている。

※「標準偏差」…調査結果の個人差の大きさを示す。平均値と標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。

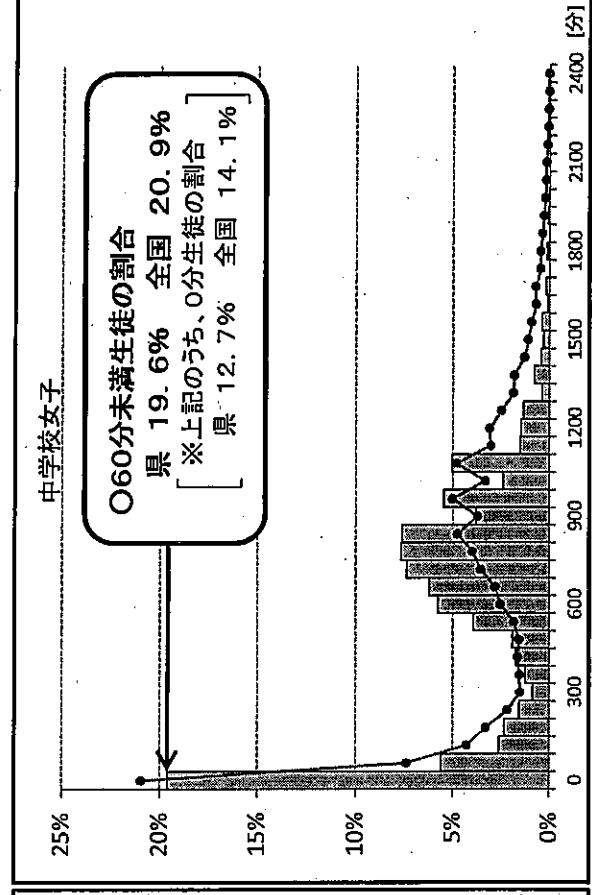
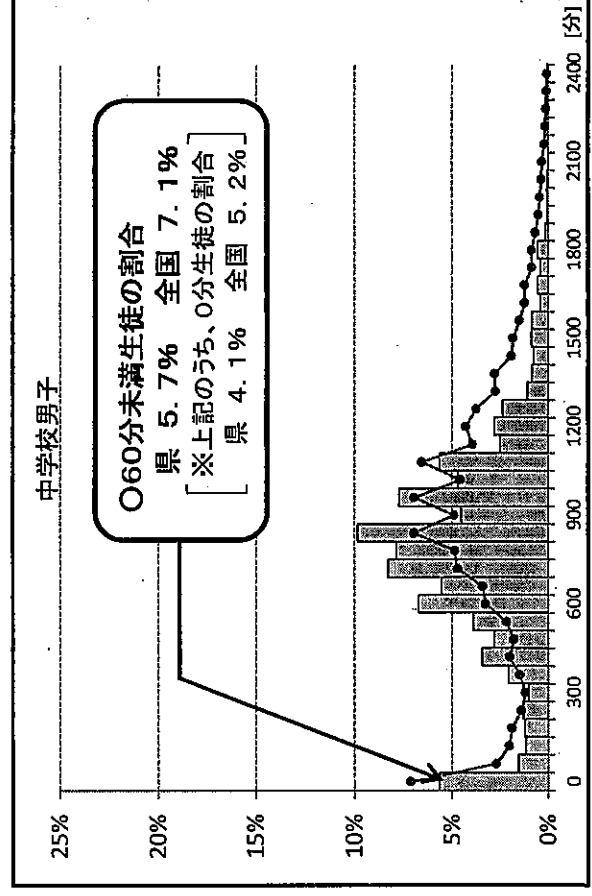
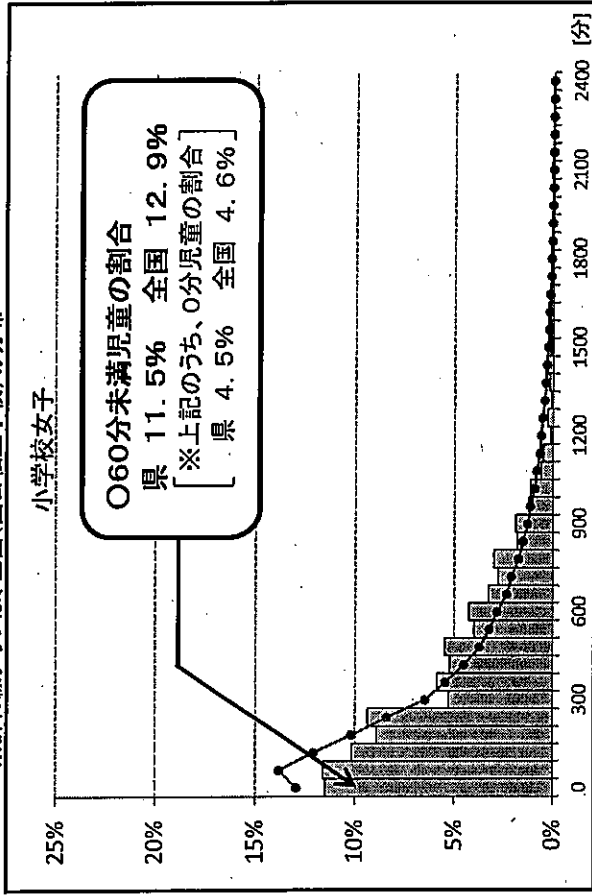
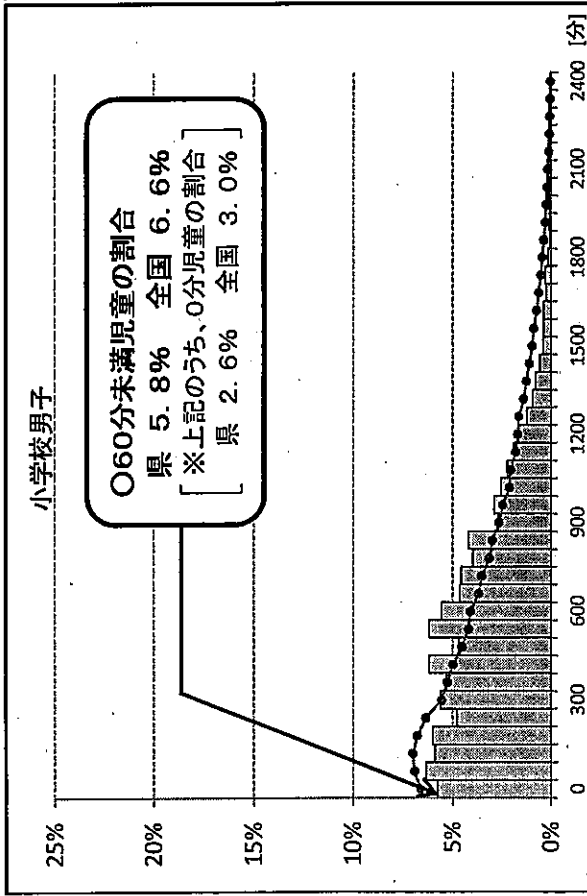
※「T得点」…全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。「T得点=50+10×(県平均値-全国平均値)/全国平均値の標準偏差」

1週間の総運動時間の分布(平成27年度 全国体力・運動能力・運動習慣等調査)

別紙6

※1週間の総運動時間の分布を、横軸を60分の階級、縦軸を割合で表しています。(0～59分、60～119分、120～179分、180～239分、240～299分、300～359分、360～419分、420～479分、480～539分、540～599分、600～659分、660～719分、720～779分、780～839分、840～899分、900～959分、960～1019分、1020～1079分、1080～1139分、1140～1199分、1200～1259分、1260～1319分、1320～1379分、1380～1439分、1440～1499分、1500～1559分、1560～1619分、1620～1679分、1680～1739分、1740～1799分、1800～1859分、1860～1919分、1920～1979分、1980～2039分、2040～2099分、2100～2159分、2160～2219分、2220～2279分、2280～2339分、2340～2399分、2400～2459分)

※折れ線グラフは、全国(国公私立学校)の分布



児童質問紙調査結果より(H27全国体力・運動能力・運動習慣等調査)

| 調査対象 | Q1 運動が好き | | | | 1週間の総運動時間 (月～日) | | | | Q20 体育の授業は楽しい | | | | Q25 体育の授業で感じて いること | | | |
|-------------|----------|-------|-------|-------|--------------------|---------|-------|------------|---------------|-------|--------|---------|-----------------------|---------|-------|---------|
| | 標本数 | 1好き | 2やや好き | 3やや好き | 4好き | 標本数 | 実施率 | 平均値 (分) | 標本数 | 1楽しい | 2やや楽しい | 3あまり楽しい | 4楽しくない | 標本数 | 1そう思う | 2そう思わない |
| 小学校 5年男子 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全国 | 532,619 | 74.0% | 19.9% | 4.3% | 1.9% | 524,268 | 97.0% | 597.49 | 531,236 | 72.7% | 21.8% | 3.9% | 1.7% | 530,640 | 90.8% | 9.2% |
| 鳥取県 | 2,421 | 74.0% | 19.5% | 4.7% | 1.9% | 2,406 | 97.4% | 572.03 | 2,421 | 69.3% | 24.6% | 4.5% | 1.7% | 2,418 | 91.4% | 8.6% |
| 小学校 5年女子 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全国 | 510,986 | 56.4% | 31.6% | 8.8% | 3.2% | 506,595 | 95.4% | 351.65 | 510,124 | 59.3% | 31.7% | 6.9% | 2.1% | 509,616 | 91.5% | 8.5% |
| 鳥取県 | 2,467 | 54.8% | 32.1% | 9.7% | 3.4% | 2,461 | 95.5% | 373.24 | 2,466 | 59.1% | 31.4% | 7.6% | 1.9% | 2,466 | 91.6% | 8.4% |
| 中学校 2年男子 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全国 | 509,675 | 65.0% | 24.6% | 6.8% | 3.5% | 500,978 | 95.0% | 913.98 | 506,925 | 49.8% | 38.4% | 8.5% | 3.3% | 506,061 | 87.8% | 12.2% |
| 鳥取県 | 2,394 | 60.8% | 27.6% | 7.4% | 4.1% | 2,363 | 95.9% | 792.54 | 2,384 | 43.8% | 42.5% | 10.0% | 3.7% | 2,381 | 90.6% | 9.4% |
| 中学校 2年女子 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全国 | 486,099 | 48.0% | 31.2% | 13.8% | 7.0% | 477,076 | 86.1% | 653.99 | 484,653 | 38.5% | 44.0% | 13.4% | 4.1% | 484,098 | 88.2% | 11.8% |
| 鳥取県 | 2,354 | 42.1% | 34.0% | 16.5% | 7.4% | 2,315 | 87.3% | 584.96 | 2,349 | 34.2% | 45.2% | 15.8% | 4.9% | 2,347 | 88.5% | 11.5% |
| 小学校 5年男子 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全国 | 529,042 | 65.8% | 22.5% | 6.8% | 4.9% | 524,214 | 34.3% | 61.5% | 524,214 | 34.3% | 26.9% | 8.9% | 5.5% | 506,110 | 63.1% | 33.8% |
| 鳥取県 | 2,412 | 62.4% | 22.3% | 8.1% | 7.3% | 2,388 | 33.2% | 54.8% | 2,465 | 29.8% | 29.8% | 9.9% | 5.8% | 2,448 | 67.1% | 24.4% |

学校質問紙調査結果より(H27全国体力・運動能力・運動習慣等調査)

体育保健課

| 小学校 | | Q26-2.地域の幼保連携の取組のうち、体力向上に係る取組 | | | | | | | | | | Q26-3.地域の幼保連携の取組内容 ※複数回答可 | | | | | | |
|-------|-------|----------------------------------|----------|----------------------------|-----------|-------------------------------|----------|------------------------|----------|---------------------------|----------|---------------------------|----------|-------------------------|-------|-------|-----------|--------------|
| | | Q2.前年度、全児童の体育授業以外で体力・運動能力向上に係る取組 | | Q5.前年度、学校全体で体力・運動能力向上の目標設定 | | Q7-2.前年度、全学年の体育授業以外の運動時間確保の取組 | | Q8-2.前年度、全学年の生活習慣改善の取組 | | Q21.学校全体の運動部活動の運営や指導の目標作成 | | Q22.運動を含む複数の活動を行う部活動 | | Q23.運動部の第3学年が卒業まで活動できるか | | | | |
| 全国 | 鳥取県 | 1.行なった | 2.行わなかった | 1.していた | 2.していなかった | 1.行なった | 2.行わなかった | 1.行なった | 2.行わなかった | 1.行っている | 2.行っていない | 1.行う予定である | 2.行っていない | 1.ある | 2.ない | 1.できる | 2.できる部もある | 3.できない(引退する) |
| 89.3% | 90.8% | 10.7% | 9.2% | 62.8% | 37.2% | 95.2% | 4.8% | 94.9% | 5.1% | 23.2% | 74.0% | 12.5% | 64.3% | 4.7% | 19.8% | 7.4% | 13.1% | 0.0% |
| | | | | 65.6% | 34.4% | 90.5% | 9.5% | 99.2% | 0.8% | 25.0% | 83.3% | 8.3% | 66.7% | 8.3% | 25.0% | 16.7% | 0.0% | |

| 中学校 | | Q2.前年度、全生徒の保健体育授業以外で体力・運動能力向上に係る取組 | | | | | | | | | | Q21.学校全体の運動部活動の運営や指導の目標作成 | | Q22.運動を含む複数の活動を行う部活動 | | Q23.運動部の第3学年が卒業まで活動できるか | | |
|-------|-------|------------------------------------|----------|----------------------------|-----------|---------------------------------|----------|------------------------|----------|---------------------------|---------|---------------------------|----------|-------------------------|-------|-------------------------|-----------|--------------|
| | | Q2.前年度、全生徒の保健体育授業以外で体力・運動能力向上に係る取組 | | Q5.前年度、学校全体で体力・運動能力向上の目標設定 | | Q7-2.前年度、全学年の保健体育授業以外の運動時間確保の取組 | | Q8-2.前年度、全学年の生活習慣改善の取組 | | Q21.学校全体の運動部活動の運営や指導の目標作成 | | Q22.運動を含む複数の活動を行う部活動 | | Q23.運動部の第3学年が卒業まで活動できるか | | | | |
| 全国 | 鳥取県 | 1.行なった | 2.行わなかった | 1.していた | 2.していなかった | 1.行なった | 2.行わなかった | 1.行なった | 2.行わなかった | 1.している | 2.していない | 1.行なった | 2.行わなかった | 1.ある | 2.ない | 1.できる | 2.できる部もある | 3.できない(引退する) |
| 63.7% | 58.6% | 36.3% | 41.4% | 54.3% | 43.1% | 96.0% | 4.0% | 95.2% | 4.8% | 77.5% | 22.5% | 41.9% | 58.1% | 15.1% | 22.0% | 62.8% | 11.9% | 83.1% |
| | | | | 56.9% | 43.1% | 100.0% | 0.0% | 95.8% | 4.2% | 67.8% | 32.2% | 33.9% | 66.1% | 5.1% | 11.9% | | | |

| 小学校 | | Q20.調査結果を踏まえた授業の工夫・改善 | | | | | | | | | | Q23.調査報告書の事例校を参考にした取組 | | Q24.第5学年の担当教員以外との、調査結果の情報共有 | |
|-------|-------|-----------------------|----------|-----------------|-------------------|----------------|--------|-----------------|--------|----------------|--------|-----------------------|--------|-----------------------------------|--|
| | | Q20.調査結果を踏まえた授業の工夫・改善 | | Q21.調査結果資料GDの活用 | | Q22.「活用シート」の活用 | | Q27.調査結果資料GDの活用 | | Q28.「活用シート」の活用 | | Q29.調査報告書の事例校を参考にした取組 | | Q30.保健体育科、第2学年の担当教員以外との、調査結果の情報共有 | |
| 全国 | 鳥取県 | 1.行なった | 2.行わなかった | 3.特定の学年のみ行なった | 4.特定の学年のみ行わない(予定) | 5.行わない(予定) | 1.活用した | 2.活用しなかった | 1.活用した | 2.活用しなかった | 1.共有した | 2.共有しなかった | 1.共有した | 2.共有しなかった | |
| 44.5% | 43.4% | 39.0% | 38.8% | 4.6% | 6.2% | 58.3% | 41.7% | 54.0% | 46.0% | 32.2% | 67.8% | 74.7% | 25.3% | 34.1% | |
| | | | | 2.4% | 0.8% | 48.1% | 51.9% | 47.2% | 52.8% | 25.2% | 74.8% | 65.9% | 34.1% | | |

| 中学校 | | Q26.調査結果を踏まえた授業の工夫・改善 | | | | | | | | | | Q29.調査報告書の事例校を参考にした取組 | | Q30.保健体育科、第2学年の担当教員以外との、調査結果の情報共有 | |
|-------|-------|-----------------------|----------|-----------------|-------------------|----------------|--------|-----------------------|--------|-----------------------------------|--------|-----------------------|--------|-----------------------------------|--|
| | | Q26.調査結果を踏まえた授業の工夫・改善 | | Q27.調査結果資料GDの活用 | | Q28.「活用シート」の活用 | | Q29.調査報告書の事例校を参考にした取組 | | Q30.保健体育科、第2学年の担当教員以外との、調査結果の情報共有 | | | | | |
| 全国 | 鳥取県 | 1.行なった | 2.行わなかった | 3.特定の学年のみ行なった | 4.特定の学年のみ行わない(予定) | 5.行わない(予定) | 1.活用した | 2.活用しなかった | 1.活用した | 2.活用しなかった | 1.共有した | 2.共有しなかった | 1.共有した | 2.共有しなかった | |
| 43.0% | 35.6% | 41.7% | 44.1% | 1.8% | 1.7% | 52.1% | 47.9% | 53.6% | 46.4% | 24.7% | 75.3% | 69.4% | 30.6% | | |
| | | | | 1.7% | 0.0% | 33.9% | 66.1% | 40.7% | 59.3% | 16.9% | 83.1% | 47.5% | 52.5% | | |

損害賠償請求訴訟の提起について

平成27年12月17日
体 育 保 健 課

平成27年11月10日付け（本県受付日 平成27年11月26日）で下記のとおり訴訟が提起されましたので、その内容等について次のとおり報告します。

記

1 原告 県内高等学校生徒（以下「原告生徒」という。）
原告生徒の父及び母（以下「原告生徒の父母」という。）

2 被告

- (1) 県立高等学校教諭
- (2) 鳥取県（代表者鳥取県知事）

3 請求の趣旨

- (1) 被告らは、原告らに対し、それぞれ99万円（原告生徒55万円、原告生徒の父母44万円）及びこれに対する2015年3月15日から支払済みまで年5分の割合による金員を支払え。
- (2) 訴訟費用は被告らの負担とする。
との判決並びに仮執行宣言を求める。

4 請求の原因

(1) 県立高等学校教諭（以下「A教諭」という。）

- ・ A教諭は平成26年度第7回鳥取県ライフル射撃大会（鳥取県ライフル射撃協会主催、H27.3.15）において不正（記録改ざん）を行った。
（記録改ざんの内容）

大会結果は、高校生女子の部に出場した原告生徒が1位(372点)、A教諭が勤務する県立高等学校の生徒（以下「B生徒」という。）が2位(369点)であったが、日本海新聞に載った結果は、1位がB生徒、2位が原告生徒と報道された。

これは、大会終了後にA教諭がB生徒の大会記録用紙に×（バツ）を書いて抹消し、大会終了後にB生徒が練習した結果(384点)を記載した得点用紙を得点係に提出するという改ざん行為を行ったためである。

- ・ 原告生徒は日本海新聞の記事で第2位と報道されたことにショックを受け、また原告生徒の父母は原告生徒がショックを受けた姿を見てひどく心を痛め精神的苦痛を受けた。

(2) 鳥取県

- ・ 鳥取県は、自らが雇用する被告が、その事業の執行について、原告らに損害を加えたのであり使用者責任を負う。

5 応訴方針

原告の主張する請求の理由は不当であるから、争うものとする

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成27年12月17日
体育保健課

【変更分】

| 工 事 名 | 工事場所 | 契約の相手方 | 契約金額 | 工 期 | 契約年月日 | 摘 要 |
|----------------------|-----------|----------|--|---------------------------------|------------------------|---|
| 県立八頭高等学校ホッケー場人工芝改修工事 | 八頭郡八頭町久能寺 | 株式会社アストロ | 契約金額 162,000,000円を 170,851,680円 (8,851,680円 増額)に改める。 | 平成27年 3月27日 ～ 平成27年12月20日 | 平成27年12月10日 (第1回変更) | (変更理由) ライン仕様の変更(学校開放の観点から幅 広い層へ使用してもらうため、6人制ライン を追加した)等を行ったため。 |